

食堂での 嘔吐物の処理方法

嘔吐処理の動き方

特別養護老人ホーム ゆうあいの郷 令和2年12月施行

必要物品

- 手袋×3セット
- マスク×2
- キャップ×2
- ガウン×2
- 雑巾×必要分
- 新聞紙×多数
- ペーパータオル×必要分
- 70Lゴミ袋×6
- シューカバー×2足
- ハイター
(次亜塩素酸ナトリウム)
- スプレーボトル×1
- 黒ビニール袋×1
- バケツ (次亜塩素酸水用)

次亜塩素酸水の作り方

① 0.02%次亜塩素酸水

500mlペットボトルに水を半分入れる。ペットボトルキャップ半分(2ml)のハイター原液を入れる。最後に水を加えて、全体を500mlとしたら、スプレーボトルに入れ替える。



② 0.2%次亜塩素酸水

500mlペットボトルに水を半分入れ、ペットボトルキャップ4杯(20ml)のハイター原液を入れ、最後に水を加えて、全体を500mlとする。



③ 0.2%次亜塩素酸水

バケツ内にハイター原液(200ml)と水10Lを入れる。バケツ内に印あり。



防護服を着用

- ① マスク
- ② 二重にした手袋
- ③ キャップ
- ④ ガウン
- ⑤ シューカバー



清潔区域に新聞紙を敷き、ゴミ袋3枚の縁をそれぞれ反転して内側に巻き込んで設置。
その隣に、0.2%次亜塩素酸水で濡らした足ふき雑巾を設置する。



吐物に0.2%次亜塩素酸水スプレーを噴霧する。



吐物をペーパータオルで覆い次亜塩素酸水スプレーを噴霧し、更に新聞紙で覆う。外側から中心部へ寄せ集めすべて取り除き、ゴミ袋①へ入れる。



1枚目の手袋を外しゴミ袋①に入れ縛る。
清潔区域にいる職員が持つゴミ袋に入れ二重にする。



吐物から半径 1 m に新聞紙を敷き、
0.2% 次亜塩素酸水をかける。消毒 10 分放置



新聞紙の無い残りの汚染区域（さらに 1 m 四方）に
0.2% 次亜塩素酸水スプレーを噴霧する。
消毒 10 分放置



現場周辺（半径 2 m）の机や足、食器及び残渣物に
0.02%次亜塩素酸水スプレーを噴霧する。



特変者の机上の食器を集め残渣物を
ペーパータオルで取り除き黒ビニール袋に入れ縛る。
ゴミ袋②へ入れる。



※ノロウイルス感染防止の為、
同机の特変者以外の食器も回収する

食器をゴミ袋③へ入れ、0.02%次亜塩素酸水スプレーをまんべんなく噴霧し、30分以上置く。



シューカバー、ガウン、手袋やキャップ等
防護服すべてを脱ぎ、ゴミ袋②に入れる。
足ふき雑巾をしっかりと踏み、清潔区域に出る。



※新しい防護服（ガウン、キャップ、靴カバー、マスク、手袋）をつける。

消毒10分経過後、外側から中心部に向けて雑巾がけを行い、次に新聞紙を中心部へ寄せ集めてゴミ袋②へ入れて縛る。



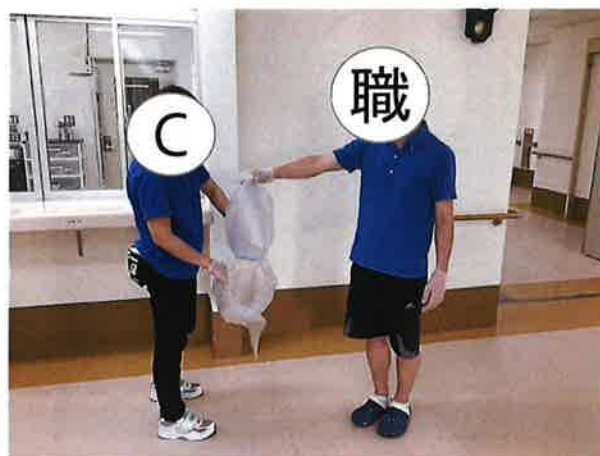
雑巾と寄せ集めた新聞紙をゴミ袋②へ入れる。



防護服類を脱ぎ、ゴミ袋②に入れて縛る。
※手袋はまだ外さない。



出入口で職員Cがゴミ袋を広げて持ち、
ゴミ袋②を他の所に触れないように入れる。



足ふき雑巾、敷いていた新聞紙、
一番最後に手袋をとりゴミ袋②へ入れて縛る。



手洗いを2回行う。



消毒した食器の袋を新しいゴミ袋で二重にし、
1Fの厨房まで持って行き手渡しする。



後片付けを行う

- 各ゴミはゴミ台車には入れず、必ず外へ出しに行く。
- 使用した物品は必ず補充する。

職員Cが行う事

- ①食堂の窓開け閉め（最低5分換気）
- ②半径2m以内の利用者を清潔区域へ誘導
- ③次亜塩素酸水の作成（バケツ、ペットボトル、スプレー各1個）
- ④トイレ前に0.2%次亜塩素酸水に浸した足ふき雑巾設置
- ⑤特変者の衣類、車椅子準備
- ⑥半径2m以内の利用者の車椅子に0.02%次亜塩素酸水を噴霧する
- ⑦特変者の更衣後の誘導
- ⑧職員A,Bからゴミ袋を受け取る